



○ 似顔絵

8月9日付けの瀬戸内タイムズさんにこの KOCHO だよりのことを紹介していただきました。それをご覧いただいた光市の浅江コミュニティの方が来校され、私が似顔絵・イラスト等の制作依頼を受けました。本校の地元でもあり、個人的に可能な範囲でお手伝いできれば幸いです。

ところで私は今までに何人の似顔絵を描いてきたのでしょうか？始まりは30数年前ある学校で開始した学級だよりの四コマ漫画用に描いたものです。下に紹介してみます。画像がややぼやけている点をご了承ください。“オチ”は古いものから今でも通用するものなどさまざまです。振り返るとおもしろいですね。同じ顔の生徒が二人登場しますが、これは双子だからです。

さて、その学校を転勤してからはほとんど似顔絵を描く機会はありませんでした。本格的に再会したのは校長になってからです。KOCHO だよりは(学級だよりも)学校の教育活動(授業や各種行事などすべてにわたって)や教職員(授業の工夫や本人の得意分野など)のことを保護者や地域の皆さんにお知らせして学校の“垣根”を低くしようというねらいで始めました。続けているとそのねらいはある程度達成できていったと感じています。

似顔絵を描く際はその人物の性格などを把握する必要があります。その人の長足を少し大げさに、ときには茶化して描かなければ似てこないからです。失礼にならないようにするため、毎回本人の了承を得るようにしています。これまで了承を得られなかったことはほとんどなく、皆さん広い心で受け止めていただいています。お一人「もう少しだけ髪の毛を増やしてください。」と注文された方がありました。私自身も少なくなってきたので理解できました。

